

## 第12期(2020年4月1日～2021年3月31日)事業報告書

特定非営利活動法人 銀河鉄道

### I. 事業の成果

2020年度もこれまで取り組んできたことと同様に、障害者が就労を通じて社会参加をするための支援を行ってきました。就労継続支援B型事業として以下の項目に注力しました。

#### ① 平均工賃額の向上

・初めて20,000円を超える平均月額工賃を支給することができました。職員の努力はもちろん、障害者の働く力に注目し仕事を与えてくださる社会の皆様のおかげだと感じております。

#### ② サービスの質の向上、そのための職員育成・スキルアップ

・昨年同様の課題であり、「工賃アップ」と「支援の質の向上」を両立することは難しく、工賃額が向上した半面支援の質は満足のいく結果ではありませんでした。その反省材料の一つが例年3～4名の方を一般就労に移行するように支援してきましたが、今年はコロナウイルスの影響もあり難航し、過去最低の2名という実績でした。

・職員の育成という部分でも、経営や工賃向上の考え方等がメインとなり、支援についての指導があまりできなかったように感じます。

2020年度も苦しい経営状況でしたが、下期になり徐々に利用者の方を紹介されるケースが増えてきました。良い施設であることを一つ数値化するとしたら、この紹介者の数になるのかなと感じています。良い支援を数値化するとしたら工賃額や一般就労者の数、または通所者の人数になるのかなとも言えます。今後も紹介されるに恥じないような良質な支援をしていけたらと考えております。

## Ⅱ. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従業員の人数	受給者の範囲人数	支出額
障害者総合支援法に基づく障害者福祉サービス事業	障害者が就労を通じ社会に参画するための総合支援	通年	本部・自主農園・派遣先企業等	8人	主として、大分市内居住の障害者30名	約41百万円
障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターを運営する事業	実施していません。					
障害者総合支援法に基づく相談支援事業	実施していません。					
誰もが暮らしやすいまちづくりや地域との交流等に関する事業	実施していません。					
その他目的を達成するために必要な事業	実施していません。					

### (2) その他の事業

2020年度において、「その他の事業」は実施しておりません。

活動計算書

令和 2年 4月 1日 から令和 3年 3月 31日 まで

特定非営利活動法人 銀河鉄道

(単位：円)

科 目	金	額	
I 経常収益			
1. 事業収益			
B型就継事業収入	30,049,120		
就継B利用者負担	111,600		
処遇改善加算収入	2,171,620		
自主事業収入	8,335,452	40,667,792	
2. その他収益			
受取利息	473		
雑収益	538,850	539,323	
経常収益計			41,207,115
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
職員給料	17,415,522		
職員賞与	2,558,487		
外注費	13,522		
法定福利費	2,749,068		
福利厚生費(職員)	25,330		
福利厚生費(利用者)	64,170		
工賃	5,557,318		
人件費計	28,383,417		
(2) その他経費			
期首棚卸高	55,896		
商品仕入高	5,400		
原材料費(棚田)	127,449		
原材料(パンダ)	1,407,067		
原材料(その他)	1,930		
合計	1,597,742		
期末棚卸高	△ 41,416		
売上原価	1,556,326		
給食費	402,980		
広告宣伝費	82,960		
旅費交通費	674,894		
車両費	376,895		
通信運搬費	231,532		
備品器具消耗品費	631,729		
燃料費	16,842		
修繕費	34,800		
水道光熱費	807,760		
リース料	1,556,606		
賃借料	3,610,600		
減価償却費	839,085		
保険料	413,933		
諸会費	89,400		
租税公課	52,600		
研修教育費	18,000		
交際費	16,920		
支払手数料	104,319		
新聞図書費	24,627		
利用者通所補助費	227,840		
利用者手当金	189,000		

科 目	金	額
就労支援金	105,140	
レクレーション費	68,128	
雑費	681,092	
その他経費計	12,814,008	
事業費計		41,197,425
経常費用計		41,197,425
当期経常増減額		9,690
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		9,690
当期正味財産増減額		9,690
前期繰越正味財産額		20,043,015
次期繰越正味財産額		20,052,705

貸借対照表

令和 3年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 銀河鉄道

(単位：円)

科 目	金	額
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	11,201,510	
未収入金	6,019,492	
未収金	21,005	
棚卸資産	116,159	
前払費用	314,200	
流動資産合計		17,672,366
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
車両運搬具	91,668	
什器備品	792,430	
建物付属設備	4,118,804	
	38,520	
有形固定資産計	5,041,422	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	160,000	
無形固定資産計	160,000	
(3) 投資その他の資産		
敷金	120,000	
投資その他の資産計	120,000	
固定資産合計		5,321,422
資産合計		22,993,788
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	2,950,886	
預り金	△ 9,803	
流動負債合計		2,941,083
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		2,941,083
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		20,043,015
当期正味財産増減額		9,690
正味財産合計		20,052,705
負債及び正味財産合計		22,993,788

財 産 目 録

令和 3年 3月 31日 現在

特定非営利活動法人 銀河鉄道  
(単位:円)

科 目		金 額	
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	手許現金	5,923	
	小口現金	42,205	
	普通預金 大分銀行	4,250,937	
	普通預金 大分銀行	267,264	
	普通預金 JA石垣	1,306,747	
	普通預金 JA石垣	325,040	
	定期預金 大分銀行	5,003,394	11,201,510
未収入金	国保連	5,084,680	
	国保連(処遇改善)	367,460	
	利用者負担金	9,300	
	ジェイパック	15,023	
	オリエント	21,700	
	島田商店 他	521,329	6,019,492
未収金			21,005
棚卸資産	食材及びパッケージ		116,159
前払費用	栄企画	150,000	
	株式会社不動産他	164,200	314,200
流動資産合計			17,672,366
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
車両運搬具	キャブハン	1	
	軽貨物	91,667	91,668
什器備品	コンテナ倉庫	1	
	エアコン 他	792,429	792,430
建物付属設備	ビニールハウス	280,145	
	トイレ改修 101	278,807	
	トイレ改修 102	282,221	
	ビニールハウス	137,228	
	店舗改装工事	3,140,403	4,118,804
一括償却資産		38,520	38,520
有形固定資産計			5,041,422
(2) 無形固定資産			
ソフトウェア		160,000	160,000
無形固定資産計			160,000
(3) 投資その他の資産			
敷金		120,000	120,000
投資その他の資産計			120,000
固定資産合計			5,321,422
資産合計			22,993,788
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	給与、利用者工賃等	2,950,886	
預り金	源泉所得税	△ 9,803	
流動負債合計			2,941,083
2. 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			2,941,083
正味財産			20,052,705

## 計算書類の注記

## 1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっ  
ています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法による原価法
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
定額法
- (3) 引当金の計上基準  
該当なし
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理  
該当なし
- (5) ボランティアによる役務の提供  
該当なし
- (6) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

## 2. 会計方針の変更

特になし

## 3. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物付属設備	3,557,520			3,557,520	417,117	3,140,403
什器備品	158,980	374,000		532,980	147,383	385,597
一括償却資産	115,560			115,560	77,040	38,520
無形固定資産						
ソフトウェア	160,000			160,000	0	160,000
投資その他の資産						
合計	3,992,060	374,000	0	4,366,060	641,540	3,724,520

## 4. 借入金が増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
該当なし				
合計				

## 5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
該当なし			

## 6. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

該当なし